平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	ゼミナールⅡA (SeminarⅡA) 【吉本ゼミ】			授業コード	E002422
担当教員名	吉本　圭一郎			科目ナンバリングコード	E21201
配当学年	2	開講期	前期		
必修・選択区分	必修	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	本ゼミは会計ファイナンスコースのゼミです。以下の項目に注意して，履修してください。 1　日商簿記検定や証券外務員など，会計・金融関連の資格取得の意思があること 2　会計ファイナンスコースの必修科目だけでなく，それ以外のコース専門科目(例：会社簿記，原価計算，財務管理論など)も積極的に学ぶ意思があること 3　会計を実践的に学び，専門知識を身につけたいという意思があること				
受講心得	無断欠席をしないようにしてください。ゼミを欠席する場合は，必ず事前に連絡をするようにしてください。				
教科書	ゼミで指示します。				
参考文献及び指定図書	ゼミで指示します。				
関連科目	簿記・会計学に関する科目				

授業の目的	本ゼミでは，主に簿記や会計学を学ぶことを通じて，企業活動や経済の仕組みを理解することを目的としています。そして，それらを理解していく過程で，ものごとを多面的にみる能力(相対化して考える能力)を養っていきます。
授業の概要	ゼミⅡでは，主に複式簿記についてゲームを利用するなど，いろいろな角度からその本質を学習していきます。そして，これらの学習を通じて，一般社会の素養も養っていきます。また，日商簿記検定試験など関連資格取得についても積極的に支援していきます。あと積極的に地域社会に出向き，実地での帳簿記帳なども実施します。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： ガイダンス 今後のゼミの進め方，ゼミ生の自己紹介，履修状況の確認を行います。	レジュメ配布するので，自宅で復習すること(30分)
第 2 週 ： 簿記・会計の基礎をボードゲームを用いるなどして学習していきます。また，個人事業や株式会社の仕組みなども学びます。	レジュメ配布するので，自宅で復習すること(30分)
第 3 週 ： 簿記・会計の基礎をボードゲームを用いるなどして学習していきます。また，個人事業や株式会社の仕組みなども学びます。	レジュメ配布するので，自宅で復習すること(30分)
第 4 週 ： 簿記・会計の基礎をボードゲームを用いるなどして学習していきます。また，個人事業や株式会社の仕組みなども学びます。	レジュメ配布するので，自宅で復習すること(30分)
第 5 週 ： 簿記・会計の基礎をボードゲームを用いるなどして学習していきます。また，個人事業や株式会社の仕組みなども学びます。	レジュメ配布するので，自宅で復習すること(30分)
第 6 週 ： 簿記・会計の基礎をボードゲームを用いるなどして学習していきます。また，個人事業や株式会社の仕組みなども学びます。	レジュメ配布するので，自宅で復習すること(30分)
第 7 週 ：	

簿記・会計の基礎をボードゲームを用いるなどして学習していきます。また，個人事業や株式会社の仕組みなども学びます。	レジュメ配布するので，自宅で復習すること(30分)
第 8 週 : 簿記・会計の基礎をボードゲームを用いるなどして学習していきます。また，個人事業や株式会社の仕組みなども学びます。	レジュメ配布するので，自宅で復習すること(30分)
第 9 週 : 簿記・会計の基礎をボードゲームを用いるなどして学習していきます。また，個人事業や株式会社の仕組みなども学びます。	レジュメ配布するので，自宅で復習すること(30分)
第10週 : 簿記・会計の基礎をボードゲームを用いるなどして学習していきます。また，個人事業や株式会社の仕組みなども学びます。	レジュメ配布するので，自宅で復習すること(30分)
第11週 : 簿記・会計の基礎をボードゲームを用いるなどして学習していきます。また，個人事業や株式会社の仕組みなども学びます。	レジュメ配布するので，自宅で復習すること(30分)
第12週 : 簿記・会計の基礎をボードゲームを用いるなどして学習していきます。また，個人事業や株式会社の仕組みなども学びます。	レジュメ配布するので，自宅で復習すること(30分)
第13週 : 簿記・会計の基礎をボードゲームを用いるなどして学習していきます。また，個人事業や株式会社の仕組みなども学びます。	レジュメ配布するので，自宅で復習すること(30分)
第14週 : 簿記・会計の基礎をボードゲームを用いるなどして学習していきます。また，個人事業や株式会社の仕組みなども学びます。	レジュメ配布するので，自宅で復習すること(30分)
第15週 : まとめ これまでの振り返りを行います。	レジュメ配布するので，自宅で復習すること(30分)
第16週 : 期末試験 期末試験は実施しません。	

授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー Ⅱ : 地域での体験交流活動を教育内容に含む科目	
備考		

〇単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	簿記・会計関連の社会的出来事について，興味・関心がある。
【知識・理解】	簿記・会計の基礎的・基本的な知識・技術が身についている。
【技能・表現・コミュニケーション】	自分の意見を明確に表現できる。 自分の意見を相手に伝える能力がある。
【思考・判断・創造】	簿記・会計関連の出来事について，相対的に考えることができる。

〇成績評価基準(合計100点)	合計欄	100点

到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			**15点**
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。		**60点**	
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		**5点**	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		**20点**	

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

〇配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	授業時に課題やレポートを出しますので，必ず提出してください。達成水準の目安は以下の通りです。 Sレベル・・・単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 Aレベル・・・単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 Bレベル・・・単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 Cレベル・・・単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
発表・その他（無形成果）	ゼミ中に適宜質問します。優れた解答をした学生は，記録して加点することがあります。